

# 政務活動報告書

議員名 塩田 勉

実施した政務活動の内容	<input type="checkbox"/> 研修 <input checked="" type="checkbox"/> 視察・調査 <input type="checkbox"/> 陳情・要望	
実施日	令和 4 年 10 月 19 日 (水) ~ 21 日 (金)	
場所	長野県東御市、茅野市	
主催区分	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 会派 <input type="checkbox"/> その他 (    )	
同行者名	播磨博一 議員、佐藤 誠洋議員、 寿松木 孝議長、青山 豊 議員	
行程及び経費	行程 (交通機関、算定根拠、人数按分など)	経費 (単位:円)
	別紙会派「さきがけ」行政視察日程表参照	
		経費合計 62,450 円
実施概要と所感	<p>●長野県東御市：小中一貫教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育長が面白い人だった。</li> <li>・小中一貫教育について、どうしてそうなったかという特別なものではなくて学力アップ、不登校、子供向けの教育行政をしている感じがした。</li> <li>・目新しい取組と感じたのは、不登校の子供に対する組織づくりをしているところだ。普通家庭にいて子供が親たちと話をすると溝や壁があるような感じがするが、それがないように不登校の子供としゃべる時にその立場になって取り組んでいる。長野県はもともと教育県だからというのも背景にあるかもしれない。</li> </ul> <p>●長野県茅野市：災害に強い支え合いのまちづくり条例について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり気に留めるような条例の中身ではなかった。</li> <li>・以前、土石流災害があった時にうまく条例が動いたと言っていた。</li> <li>・横手で同じような条例を作った場合どうか。一番は雪の時、山内や狙半内で土砂災害が起きた時にどうするのだが、横手の場合は危機管理能力が高いのですぐに対応できるなと思った。</li> <li>・問題は救援物資をどうやって届けるか。東日本大震災の時に横手市で遠野を経由し石巻、大船渡に必要なものを送った経験があるのでそういう点でも横手は対応できる。ただ、防災ヘリ活用の検討や、山内や狙半内は道路が一本だからそこをどうするかという対策は必要だ。</li> </ul>	